



# 校長室だより 2

黒部市立萩生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和5年4月28日  
5年度第4号

あっという間に4月も終わりです。今月は新年度の始まりらしく、どの教室からも希望に満ちたはつらつとした雰囲気を感じることができた毎日でした。

## 効果的な学習の形態を工夫していけそうです

先日、ふと1年教室をのぞいてみると、子供たちが机をピツタリと4人グループにくっつけ、教室の前半分の方にキュッと集まるようにして座っていました。深本先生のお話を集中して聞いている様子に感心し、少し懐かしいような嬉しい気持ちになりました。

コロナの感染予防が厳重だった頃は、個々の机を離し、全員が前を向く学習形態ばかりでした。体の小さい低学年の子供にとって、机1つ分ほども広く間隔を空けて座るのは、心細いことだったに違いありません（我々大人も、会合等で隣の人と席がぐんと離れていると、ちょっとしたのぞき見や質問もできず心細いものです…）。反面、友達と机を近づけることで私語が増えることもありますが、それでもやはり、皆で固まって先生の話聞きながら学習する方が、とりわけ低学年の子供にとっては効果的であるように思います。これからは、学習の内容や子供の実態に応じてペアやグループ、コの字型等、効果的な形態をとりながら授業を進めていけたらよいと考えています。担任の先生方、お願いします。

## 4/26(水) 1～4年生の遠足、そして5・6年生は・・・

26日(水)は低・中学年の子供たちが楽しみにしていた遠足でした。あいにくの雨の一日でしたが、楽しい思い出ができたようです。

### ★1・2年生 アルペン乳業株式会社～富山市ファミリーパーク

いつも給食で飲み慣れた（見慣れた）白と緑のパッケージの牛乳を製造している様子を見学したり、製品の試飲をしたりできたそうです。ファミリーパークでは雨の園内を見学してきました。長靴を履いていかなかった子は足元が濡れてちょっと大変だったようですが、学校に着くと、「楽しかった」と口々に感想を話してくれました。

### ★3・4年生 ますのすしミュージアム～県中央植物園～富山市科学博物館

ますのすしミュージアムでは館内の見学や係員の方の説明、キャラクターとのふれあいもあったようです。中央植物園では珍しい植物を見て回りました。富山市科学博物館ではたくさんの科学実験や体験のできるコーナーをグループごとに思い思いに回って楽しんだそうです。3カ所も見学し、たくさん勉強になった遠足だったことでしょうね。

### ★学校に残った5・6年生はいっしょに遊ぶ練習(!?)をしました

この日学校に残った5・6年生は、3・4限目に2学年合同での学習でした。5月から始まる縦割り班の「わんぱくタイム」（運動遊びの時間）

に向けて、実際に遊んでみる時間だったとのことです。いいシミュレーションができ、見通しがもてたようです。全校のリーダーとしての大事な事前学習、お疲れ様です。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第4号への感想

年 児童名

## 学習参観等、ご来校ありがとうございました

先週末22日（土）の学習参観に、多数の保護者の皆さんにご来校いただきました。ありがとうございました。今回からコロナ対応の分散実施をやめ、以前のような1時間（今回は2限目）のみの実施に戻しました。その分、人が多く感じられましたが、保護者の方にとってもお互いに顔を合わせることができるよい機会となったのではないかと思います。

学級懇談会やPTA総会も午前中に続けて行うことができ、日程的にもスリム化を図ることができました。

さて、今年度はほとんどの学級で新しい担任となり、教職員も皆、これまで以上に新鮮な気持ちで保護者の皆さんとの顔合わせをすることができました。改めまして、これからの1年間よろしく願いいたします。

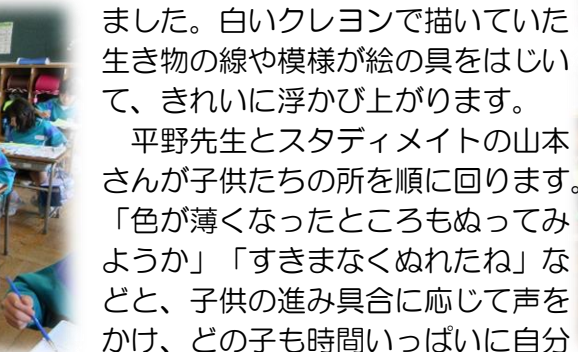
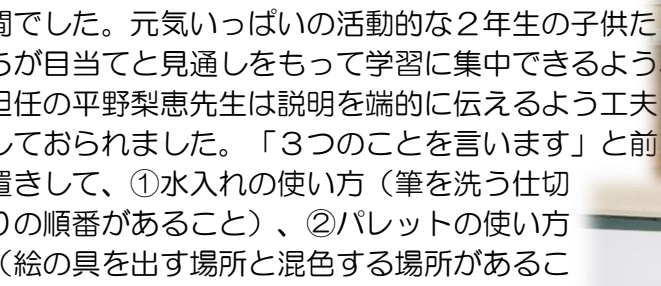


## シリーズ「教室におじゃまします」 4/27(木)2年図画工作科の巻

この日は先日の学習参観の続き「ふしぎな生きものあらわれた」の仕上げの時間でした。元気いっぱいの活動的な2年生の子供たちが目当てと見通しをもって学習に集中できるよう担任の平野梨恵先生は説明を端的に伝えるよう工夫しておられました。「3つのことを言います」と前置きして、①水入れの使い方（筆を洗う仕切りの順番があること）、②パレットの使い方（絵の具を出す場所と混色する場所があること）、③今日のゴール（画用紙の白いところがなくなるまでしっかり色をつけること）の3つを、テンポよく子供たちに示しました。

「11時5分までね」と時間のゴールも確認して、各自の活動に移りました。どの子も自分の作品への思いがあり、丁寧に、大切に色をつけていきました。白いクレヨンで描いていた生き物の線や模様が絵の具をはじいて、きれいに浮かび上がります。

平野先生とスタディメイトの山本さんが子供たちの所を順に回ります。「色が薄くなったところもぬってみようか」「すきまなくぬれたね」などと、子供の進み具合に応じて声をかけ、どの子も時間いっぱい自分の大切な絵を仕上げることができました。



**おまけの<ひとこと>**「おじゃまします」の2年生の授業は3時間目だったのですが、開始時に教室に戻ってきていない子がいました。手の空いている先生が校内を探してくださり見つけたのですが、その子はどういうわけか授業に気持ちが向かず、すぐそばまで来ているのに教室に入りません。が、そのうち教室内の楽しそうな雰囲気を感じ取り、そそくさと教室に戻ってきました。その後は、何事もなかったように準備を始め、皆に追いつくように絵を描き始めました。平野先生も友達もその子を自然に受け入れていました。いろいろあっても戻ってくるができる教室、自分を受け入れてくれる教室があるのは幸せですね。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第4号への感想

年 児童名